

- 問1 イギリスの産業革命初期における綿織物工業の発展について、その特徴を説明したものとして適切な記述はどれですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）
1. 重化学工業から始まった日本の産業革命とは異なり、石炭の利用を一切行わなかった。
 2. ニューディール政策によって政府が主導し、機械の導入と失業者対策を同時に進めた。
 3. 羊毛を原料とした伝統的な家内制手工業を維持することで、高品質な製品を輸出した。
 4. 海外製品の人気を背景に、国内での大量生産を可能にする技術革新が進んだ。
- 問2 長崎港内を描いた絵図には、複数の建物が並びオランダ国旗が掲げられた扇型の人工島が確認できます。この場所における江戸時代の状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 大阪府公立入試 類似）
1. 日本人の海外渡航を奨励するため、朱印船の船主たちが共同で運営する宿泊施設となっていた。
 2. 琉球王国との中継貿易を行うため、島津氏が長崎の商人に出資させて建設した。
 3. 幕府がキリスト教の広まりを防ぐため、商館員をこの島の中に閉じ込めて厳しく監視した。
 4. イギリスやスペインとの自由な貿易を許可するため、関税のかからない特別な港として機能した。
- 問3 江戸時代の商工業者の組織について、幕府や藩が行った「株仲間の公認」と、それによって得られる行政側の利点について述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 長崎県公立入試 類似）
1. 商人に村の運営を任せることで、地方の農村支配にかかるコストを削減する仕組み。
 2. 商人の自由な競争を促すことで、市場を活性化させて物価を大幅に下げる仕組み。
 3. 商人に武士の身分を与えることで、藩の軍勢力を強化し防衛体制を整える仕組み。
 4. 商人に独占的な営業を認めることで、幕府や藩が安定した税収を得る仕組み。
- 問4 江戸時代に発達した、庶民の風俗や日常生活を描いた絵画を何といいますか。特に、鈴木春信らによって生み出された多色刷りの木版画は「錦絵」とも呼ばれ、当時の人々の間で広く普及しました。（2025年 千葉県公立入試 類似）
1. 水墨画
 2. 大和絵
 3. 障壁画
 4. 浮世絵
- 問5 徳川吉宗が制定した「公事方御定書」の役割や特徴について、正しい説明はどれですか。（2016年 千葉県公立入試 類似）
1. 5代将軍綱吉による「生類憐みの令」を整理し、生き物を殺生した者への罰則をより明確に定めた。
 2. 全国の大名に対して、城の修繕や婚姻を厳しく制限し、軍勢力を抑制することを目的とした。
 3. 朝廷を監視し、天皇や公家が政治に関与することを防ぐために制定された。
 4. 奉行たちが裁判を行う際に、恣意的な判断を避け、統一された基準で判決を下せるようにするために編纂された。
- 問6 17世紀初め、江戸幕府が貿易を統制・発展させるために、日本船に対して発行した海外渡航の許可証を何というか。（2015年 鳥取県公立入試 類似）
1. 朱印状
 2. 割符
 3. 勘合
 4. 御教書
- 問7 江戸幕府の財政再建を目的として、8代将軍徳川吉宗が行った「享保の改革」の内容を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 沖縄県公立入試 類似）
1. 大名に米を献上させる代わりに江戸滞在期間を短縮する「上げ米の制」を導入し、新田開発を推進した。
 2. 武士に質素儉約を命じるとともに、参勤交代の制度を初めて武家諸法度に明文化して大名を統制した。
 3. 儒教の精神を重んじて「生類憐みの令」を廃止し、学問吟味の制度を設けて優秀な人材を登用した。
 4. 貨幣の質を落として流通量を増やすことで物価の安定を図り、株仲間の結成を積極的に奨励した。
- 問8 江戸時代前期の元禄文化が、それまでの時代の文化と比べて、どのような社会背景をもとに発展したか、その特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）
1. 遣唐使の廃止によって、日本の風土や日本人の感情に合った国風文化が貴族の間で発達したこと
 2. 応仁の乱のあとの混乱の中で、禅宗の影響を受けた簡素で深い味わいをもつ文化が武士に好まれたこと
 3. 参勤交代によって江戸に全国の富が集中し、江戸の庶民の間で肉肉や滑稽を好む文化が広まったこと
 4. 幕府の政治が安定し、農業や商業の発展によって上方（京都・大阪）の町人が経済力をつけたこと
- 問9 江戸時代、国内の鉱山で産出された銅は、幕府の統制下で特定の場所へ運ばれ、海外との貿易における重要な輸出物となりました。この貿易が行われた場所と、主な輸出相手となった国の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2021年 大阪府公立入試 類似）
1. 堺を通じて、オランダやポルトガルへ輸出された
 2. 長崎を通じて、清やオランダへ輸出された
 3. 平戸を通じて、清やイギリスへ輸出された
 4. 長崎を通じて、イギリスや清へ輸出された
- 問10 江戸時代、老中として寛政の改革を主導した松平定信は、武士の規律を正し社会秩序を回復するため、ある学問を幕府の公式な学問として決めました。聖堂学問所において、この学問以外の講義や研究を禁止した政策を何といいますか。（2026年 北海道公立入試 類似）
1. 慶安の御触書
 2. 文武の奨励
 3. 禁中並公家諸法度
 4. 寛政異学の禁
- 問11 江戸時代、幕府が鎖国体制を築く中で、海外との窓口として機能した九州北西部の長崎において、オランダとともに継続的に貿易を行った主な相手国はどこですか。（2024年 熊本県公立入試 類似）
1. イギリス
 2. ポルトガル
 3. 中国（清）
 4. スペイン
- 問12 江戸時代の庶民文化において、葛飾北斎や歌川（安藤）広重らが描いた「浮世絵」が、広く一般の人々に普及した理由や背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 大阪府公立入試 類似）
1. 安土桃山時代の城郭に見られるような、金箔を多用した豪華な障壁画が一般的になったため。
 2. 木版画の技術が発展したことで、同じ作品を大量に印刷し、安価に販売することが可能になったため。
 3. 明治時代の黒田清輝らによる西洋画の普及に対抗し、幕府が公立の美術館を建てて展示したため。
 4. 室町時代の雪舟が確立した水墨画の技法を、武士が庶民の教育用として奨励したため。
- 問13 江戸時代に伊能忠敬が作成した日本地図（大日本沿海輿地全図）の作成方法とその特徴について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 大阪府公立入試 類似）
1. 全国の諸藩が幕府に提出した古い古地図を収集・整理し、それらをパズルのように繋ぎ合わせることで完成させた。
 2. オランダから輸入された最新の世界地図を日本語に翻訳し、日本の位置関係を修正して作成された。
 3. 幕府の軍艦を用いて海上から海岸線の形状を測定し、主に外国船の来航に備えるための防衛用地図として作成された。
 4. 日本全国の海岸線を実際に歩き、器具を用いた測量と天体観測を組み合わせることで正確な形を描き出した。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 海外製品の人気を背景に、国内での大量生産を可能にする技術革新が進んだ。	18世紀後半のイギリスでは、綿製品の需要拡大に対応するため、動力を用いた機械による大量生産体制が確立されました。これが産業革命の本質的な変化です。ニューディール政策は20世紀のアメリカで行われた不況対策であり、イギリスの産業革命とは関係ありません。
問2	答え 3 幕府がキリスト教の広まりを防ぐため、商館員をこの島の中に閉じ込めて厳しく監視した。	出島での生活は幕府によって厳しく制限されており、オランダ人の出入りだけでなく、日本人の通行も厳しく制限されていました。これは貿易の利益を独占する目的のほか、キリスト教が日本国内に浸透することを防ぐという政治的な目的があったためです。
問3	答え 4 商人に独占的な営業を認めることで、幕府や藩が安定した税収を得る仕組み。	幕府や藩は、特定の商工業者に営業の独占権を与えることで、彼らを組織化し統制しやすくしました。その最大の利点は、公認の対価として運上金や莫加金を納めさせることで、幕府や藩が安定した金銭的な収入を得られる点にありました。この制度は、商業が発達した江戸時代中期以降、特に重要な財政再建策として機能しました。
問4	答え 4 浮世絵	江戸時代の町人文化の中で発展したこの絵画は、当初は墨一色の刷り物や手描きでしたが、後に多色刷りの技法が確立され、安価な版画として庶民に親しまれました。歌川広重や葛飾北斎といった有名な絵師が登場し、当時の流行や風景を伝えています。
問5	答え 4 奉行たちが裁判を行う際に、恣意的な判断を避け、統一された基準で判決を下せるようにするために編纂された。	江戸時代中期になると社会が複雑化し、裁判の数も増加しました。公事方御定書は、裁判を担当する奉行が過去の記録を参考にしながら一貫性のある判断ができるように作られた法典です。これは一般に公開されるものではなく、司法担当者のみが閲覧できる「秘法」としての性質を持っていました。
問6	答え 1 朱印状	江戸幕府の初代将軍である徳川家康は、海外貿易を奨励するために特定の商船に「朱印状」という公文書を発行しました。この文書を携えた日本船は、幕府公認の船として東南アジア各地へ渡航することができました。室町時代に明との貿易で使われた「勘合」との違いに注意が必要です。
問7	答え 1 大名に米を献上させる代わりに江戸滞在期間を短縮する「上げ米の制」を導入し、新田開発を推進した。	徳川吉宗による享保の改革は、深刻な幕府の財政難を解消することが大きな目的でした。臨時の措置として大名に石高1万石につき100石の米を献上させる代わりに、江戸滞在期間を半年間に短縮する「上げ米の制」を実施したほか、年貢の増徴を図るため新田開発を積極的に進めました。参勤交代の制度化は3代家光、株仲間の奨励や貨幣の質の変更は後の田沼意次などの時代に顕著に見られる政策です。
問8	答え 4 幕府の政治が安定し、農業や商業の発展によって上方（京都・大阪）の町人が経済力をつけたこと	元禄文化は、兵農分離や新田開発によって社会が安定し、物流の拠点である上方で経済活動が活発化したことを背景にしています。経済的な実力を持った町人が、武士の形式ばった文化ではなく、自分たちの感情や生活を肯定する華やかで躍動感のある文化を創り出しました。
問9	答え 2 長崎を通じて、清やオランダへ輸出された	江戸時代の幕府は、長崎を唯一の窓口として清（中国）やオランダとの貿易を継続しました。日本産の銅は、これらの国々から輸入する生糸や薬種などの代金を支払うための重要な決済手段として活用され、大量に海外へと輸出されました。イギリスは17世紀前半に長崎の商館を閉鎖しており、江戸時代後半の主要な貿易相手ではありません。
問10	答え 4 寛政異学の禁	松平定信は、身分秩序を重視する朱子学を幕府の正統な学問と位置づけました。役人の思想を統一し、幕府の統治体制を強化するために、聖堂学問所（のちの昌平坂学問所）で朱子学以外の教えを広めることを禁じました。
問11	答え 3 中国（清）	江戸幕府はキリスト教の禁止や貿易の統制を目的として対外関係を制限しましたが、中国（清）とオランダの2か国については、九州北西部に位置する長崎の港に限り、継続的な貿易を認めました。
問12	答え 2 木版画の技術が発展したことで、同じ作品を大量に印刷し、安価に販売することが可能になったため。	浮世絵は、絵師・彫師・刷師の分業による木版画（錦絵）として制作されました。これにより、手書きの絵画とは異なり大量生産が可能になったため、庶民がそばや団子を買うような手軽な価格で手に入れることができ、娯楽として定着しました。
問13	答え 4 日本全国の海岸線を実際に歩き、器具を用いた測量と天体観測を組み合わせることで正確な形を描き出した。	伊能忠敬は「導線法（歩いた距離と方位を記録する方法）」と、星の高度から緯度を算出する「天体観測」を併用する手法を用いました。実際に自分の足で全国を歩き通すという膨大な時間と労力をかけた結果、それまでの概念的な地図とは一線を画す、日本列島の正確な輪郭を捉えた地図が完成しました。この地図は後に訪れたイギリスなどの欧米諸国も、その正確さに驚いたと伝えられています。